

いのちを
育む!!

おだしま久美子

通信

Vol. 75
2023春号

公明党仙台市議団 青葉区国分町3丁目7-1 TEL 022-214-8718



～文部科学省選定～

映画「夢みる小学校」せんだい自主上映会2023



【表敬訪問】上映会の御案内

仙台市長へ上映会の御案内。公明党仙台市議団が同席。

せんだい自主上映会代表／田畠恵子さん

ろりぽっぷ学園／加茂光孝 学園長

親子の居場所クローバー／主宰 遠藤さち子さん 皆さんと共に。



実現!!

宮城県教育長との意見交換

実行委員会の皆様と、宮城県教育長との意見交換の場が実現。

- 仙台市太白区のろりぽっぷ小学校（不登校特例校）で開催。「未来の教育」感動と感謝のドキュメンタリー映画。
- 郡市長や福田教育長も参加してのトークも行われ、学校が楽しい場所になることの大切さを語っていただきました。
- 映画では「きのくに子どもの村小・中学校」、公立小中学校での通知表や時間割りがない自由な取り組み、「学校は楽しいだけでいい」という、創立者堀真一郎理事長の教育への想いなどが紹介されています。
- ラストシーンでは、卒業式で子どもたちが「入学させてくれてありがとう」と家族に涙を流して感謝の思いを伝えています。
- 子どもが輝き、楽しく学校生活を送っている様子は、子どもの自主性を尊重した学校づくりからスタートしていると実感できます。
- 私たちの身近に学校生活に生きづらさを抱えている子どもたちがいます。命の限り日本の教育の課題を訴えているのだと気付かされます。
- 靴に足を合わせるのではなく、足に靴を合わせる教育。常に子どもたちの声に耳を傾け、子どもの視点で考る学校!目指します!



実現!!

適応指導センターの名称変更のため「条例改正の委員会設置」決定!

以前から「適応指導センター」の名称を、子どもの学びをサポートする名称に変更するよう求めておりましたが、条例改正を行い、子どもの学びに相応しい名称に変更する話し合いが行われるとの答弁がありました。更に、「学校に登校するという結果のみを目標とするのではなく」との文科省の考え方に基づいた検討を促した他、不登校は子どもの問題ではなく、教育のミスマッチであり、学校の良いところ、先生の良いところが伝わるような、学校が楽しいと思える場所にする多様な学びを推進し、児童生徒の支援の充実に向け実効性ある対策を教育長に求めました。

おだしま久美子 公式サイト



Facebook



Twitter



LINE





▶令和5年第5回定例会 ▶予算等審査特別委員会

ひきこもり
ニーズ調査

議会中継
[QRコード](#)

不登校
対策委員会

議会中継
[QRコード](#)

子どもみんなプロジェクト 「学校風土尺度調査」の展開を求めました

「子どもの発達科学研究所」と連携した 「子どもみんなプロジェクト」

■学校風土調査

■大阪大学大学院片山泰一教授の講演内容

■10大学コンソーシアム

大阪大学、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、
福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、
武庫川女子大学、中京大学

学校集団全体を捉えて細かな分析を行い、特徴に対する効果的なプログラムが得られる結果のエビデンスが示されています。



文部科学省は本年1月、不登校対策への緊急提言を行い3つの柱と4つの方向性を示しました。3つの柱には「学校風土」を盛り込んでいます。小田島は、いじめ問題も不登校対応とともに学校の雰囲気に要因が大きいとし、これまでにも学校風土調査の挿入を求めてきました。「子どもみんなプロジェクト」は、不登校対策を進めるにあたり、不登校の要因を児童生徒の状況データで客観的に把握し、学校の雰囲気、環境や関係性等の側面からみています。項目の組み立て・分析、更に結果から見えてき対策・支援も質疑の中で紹介しました。教育局からは、しっかり研究させていただき、どのように本市の施策に反映できるか考えてまいりたいとの答弁がありました。

仙台で教育の課題が浮き彫りになった2018年以降、片山泰一教授・数十回の御講演

私が運転する車に教授とスタッフに同乗していただき、宮城県の西へ東へ駆け巡りご講演頂きました。道すがら沢山のご教示もいただき、誰も悲しませず、教育現場で誰も悪者にせず、誰一人取り残さない学びの場所をつくりたいとのお話を何度もお聞きしました。

そして、仙台市議会や仙台市教育センターでの仙台市内全校長会等での講演も実施。

片山教授の御講演の始まりは、いつも一枚の写真に対して、「AINシュタインに見えた方」と「マリリンモンローに見えた方」と会場に質問され手を挙げていただき、それぞれに複数の手が上がり、ざわめきがおこります。そして、その事から、あたりまえと思っていることの違いを教えていただきます。自分の考えが、当たり前だと思っていることは、時に他の人には、当たり前ではないということを、ご教示いただきました。